

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

平成30年6月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準のスペースに充分適応している
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に相応している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	建物はバリアフリー化されていない。ニーズがあれば今後の課題として改善するよう検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			1日の反省、業務の振り返りについては職員間で行っている。今後PDCAサイクルの手法を取り入れ意識していきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		評価表アンケートが初回の為、今後もしっかりとアンケート調査を実施し、改善につなげていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		自己評価初回の為載せてはいないが、今後から載せてゆく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は行っていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			ペアレントトレーニング研修、虐待防止研修等、資質向上のため今後も研修等に積極的に参加していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントに時間をかけ、しっかりと状況や情報を収集し、計画を立てて支援につなげている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		施設独自のアセスメントツールを用いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			リーダーを筆頭に活動内容プログラムを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			色々と参考にし、工夫に努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			季節にあった遊びや、個々に合わせた支援を行いきめ細やかに対応をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々に応じ個別活動を行い、集団活動では小グループを作り合わせた活動をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用者、利用人数、支援内容など個々の情報や注意点など確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			必ず打ち合わせを行い、振り返りを行っている。次の支援につながるよう情報の共有等行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			親御様との連携は連絡帳を用いて記録につなげ、業務日誌を毎日作成し、出来事や事柄を記録している

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			スタッフ会議をはじめとし、定期的にモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			複数組み合わせ合わせて日々の支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者兼児童発達管理責任者が同席し、必要に応じて指導員も出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校開催の説明会に出席し、送迎時の確認や、年間行事予定等の確認等を行っている。送迎時には担任と顔を合わせ、その日の申し送り事項の確認を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケア児の受け入れはしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	今後必要に応じて努めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		学校卒業生の輩出したことはないが、その時期が来た時には情報提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関との連携に努めたい。研修等も積極的に参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域活動として、今後そういった機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	協議会等への参加はできていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎日の連絡帳に加え、送迎時に直接お話をしたり、必要時には電話連絡をし日頃の様子を伝えたり、教えて頂いている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	事業としてペアレント・トレーニング講座を行っているが保護者向けには開催していない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をし、不明な点等お聞きしている。後日質問等不明点があれば連絡ください。とお話している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			お悩み等あれば助言を行い適切に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			初年度、保護者会を開催し、保護者同士顔合わせを行った。今年度も開催予定。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付等の体制整備を整えており、その時には迅速に対応をしていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		定期的に、インターネットを通じてホームページなどにブログを載せ行事内容等を周知している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			最善の注意をもって管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳、送迎時の申し送り、場合よっての相談援助等を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			昨年夏祭りに地域住民に声を掛け参加していただいた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルは作成しているが、保護者へは周知していない。今後は保護者へも周知できるよう対応していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年1回の避難訓練を実施している。今後は回数を増やし様々に対応できるよう訓練の計画を立てていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			責任者が研修を受け、職員への研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			一時的な身体拘束については個別支援計画に詳細を記載し、十分な説明をしたうえで了解を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食物アレルギーに対しては親御様と相談し、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		早急に事例集の作成をし、共有していく。